

基研原子核グループにポスドクとして加わった際、初めての環境で右も左も分からず戸惑っていた私に、溶け込めるようたくさん気を遣ってくださったのは大西さんでした。短い間でしたが、度々お世話になり、言葉に尽くせないほどの恩を感じています。具体的なエピソードは控えますが、(特に私が問題を起こしたりトラブルを抱えているときに、) その気さくな人柄と行動力の高さに幾度となく助けられました。いくら感謝してもきれないほどです。

長い間胃の不調を抱えていたようでしたが、ある日突然「病気のため在宅勤務が中心になる」との連絡を受け、その数ヶ月後の急な訃報に接したときは、現実が受け入れられず、驚きと深い悲しみに打ちひしがれました。

時が経つと人は移ろい、グループの景色も変わっていきます。それでも、大西さんから学んだこと、私たちに遺した教えと影響は、これからも私たちの指針となり続けると信じています。ここに心から哀悼の意を表し、安らかな眠りにつかれますよう心よりお祈り申し上げます。

林 優依 (京大基研)